

学習テーマ

主な関連項目: 普遍 - 、個別 -

違いを豊かさに

< 小学校第6学年 >

～ ありのままの自分、仲間を受け入れるために ～

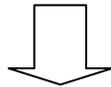
目的 「できないこと」や「違うこと」にマイナスイメージをもつ自分を見つめ、違いを受け入れかかわっていくことの大切さに気づく。

< 気づく >

車いす体験、アイマスク体験をする

疑似体験を通して、ハンディキャップのある方の不便さを知る。
疑似体験した自分の気持ちを振り返る。

車いす、アイマスク
・社会福祉協議会や福祉施設等に協力依頼

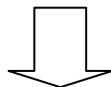


< 広げる深める 1 >

障害のあるBさんと出会おう

障害のあるBさんから、「不便だけど、不幸じゃない」という人生観を学ぶ。
障害を自分自身が受け入れられなく隠そうとしたり、生きていく希望をなくしかけたこと、また、自分の中に障害者への差別心があったことなど、Bさんから、ありのままの自分を出すことによって人生が豊かになった話を聞き、自分を振り返る。

社会科との関連
「社会を見つめる
バリアフリー・ユニバーサルデザイン調べ」
・同じテーマを持つもの同士でグループを作り意見交換をする。
・自分たちの中にある心のバリアに気づかせていく。

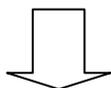


< 広げる深める 2 >

在日韓国・朝鮮人のCさんと出会おう

歴史学習の中で、日本と韓国・朝鮮との関係を学び、在日韓国・朝鮮人のCさんに出会う。
Cさんが子どもころに受けてきた差別の現状や、その差別に負けずにたくましく生きてこられた人生に学ぶ。

韓国・朝鮮についてのこれまでの出会い (Cさん)
・3年: 国語科「三年とうげ」ハンゲル語・韓国語・チョゴリとの出会い
・5年: 社会科「世界の米料理」ピビンバづくり など
資料「同情に潜む差別意識」(学宝社)

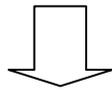


< 計画し、実践する >

BさんやCさんとの出会いを通して、 自分でできそうなことを見つける

できないことの苦しみ、違いを隠そうとしていること、誰かに聞いてほしい、受け止めてほしいと感じていることに気づく。
まわりの人がかかわり、仲間として受け入れることの大切さに気づき実践しようとする。

社会科との関連
「基本的人権」
・自分たちの地域
の中で人権獲得
のために社会や
環境・施設をより
よくしてきた実績
や人について知る。



< 振り返る >

自分の変容について振り返る

ありのままの自分を出し、仲間を受け入れる自分であるかを振り返る。

「卒業文集」
・自分を見つめて卒業文集を書く。



【学習を進めるにあたって】

・障害者問題、在日韓国・朝鮮人問題などをそれぞれ個別の人権問題を追究する学習に発展させることができる。

・地域の実態に応じて、障害者・高齢者・外国人・患者などさまざまな立場の方々との出会いが可能で、活動内容を工夫していくことができる。